

## こもれびの里クラブ

「こもれびの里」では、平成14年9月に発足したボランティア団体「こもれびの里クラブ」と公園事業者が、共に検討しながら整備・運営を行っています。  
平成19年10月の開園後も管理運営に携わっています。



※こもれびの里クラブ員は一般公募によるボランティアです。

## こもれびの里のイベント

こもれびの里では、さまざまな体験イベントを開催しています。

### ■うどん作り体験



### ■田植え体験



### ■収穫祭(宝船)



### ■里の春まつり(昔遊び)



### ■年中行事(初午)



### ■年中行事(十五夜)



詳細は、公園HP・園内掲示ポスターをご覧ください。

## こもれびの里の歩み



開拓前の里の風景(平成14年7月)



大のぼり



現在の里の風景

平成14年 9月	「こもれびの里クラブ」発足 開墾開始
平成17年 4月	「里の小屋」完成
平成19年 3月	市民による雑木林づくり
平成19年 6月	「水車小屋」完成
平成19年 10月	開園
平成25年 8月	農家エリアオープン

### ■こもれびの里のご案内

#### こもれびの里 開園時間

3月1日～10月31日 9:30～17:00  
11月1日～ 2月末日 9:30～16:30

#### 農家エリア

3月1日～10月31日 10:00～16:00  
11月1日～ 2月末日 10:00～15:30

休園日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日の平日)



こもれびの里

お問い合わせ

国営昭和記念公園管理センター  
TEL 042-528-1751 (電話自動応答システム)



国営昭和記念公園  
SHOWA KINEN PARK

国営昭和記念公園「こもれびの里」は昭和30年代の武蔵野の農村風景を再現しています。「昭和・武蔵野・農業」をテーマに、官民協働で農業や年中行事など様々な体験を通じて自然と暮らしの知恵を伝えていくエリアです。

## こもれびの里3つのテーマ

### 昭和

昭和は激動の時代であった。高度経済成長の時代を経て武蔵野は急速に都市化し、原風景が次々に失われてきた。里は永年にとわり築いてきた先人の知恵や技術を伝承する場所である。

### 武蔵野

武蔵野の自然は、野山や雑木林、家屋敷、農地、水路にいたるまで、人々の仕事や生活の場であった。人々は自然を畏れながら感謝して、自然を大切にしてきた。

### 農業

武蔵野の大地の特性を知り、自然と人との営みで育まれてきた「農業」。くらしの知恵が凝縮する農家と、そこで生まれ、伝えられてきたくらしの知恵を体験する。



#### 里の小屋

農作業するための活動場所と展示や体験イベントのスペースになっています。



#### 水車小屋

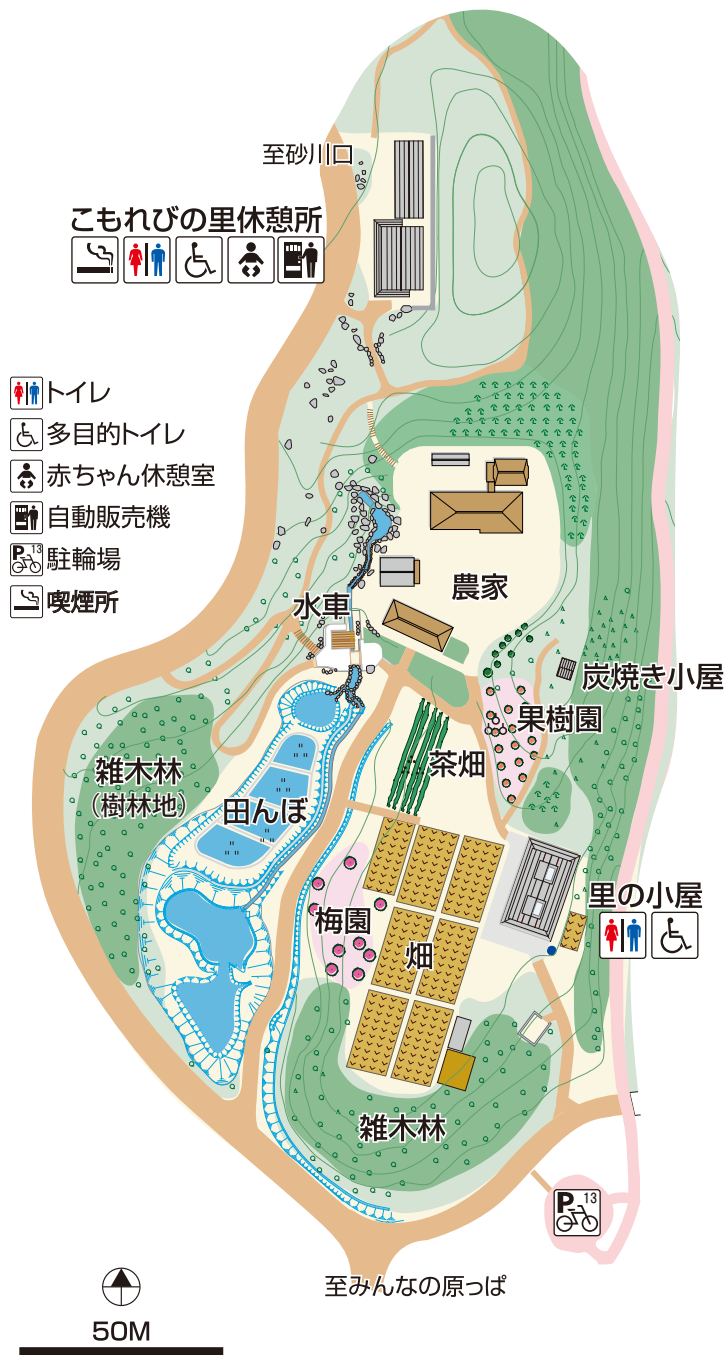
武蔵野台地では、地形の高低差が小さいため、「エビ樋」による胸かけ方式が多く、こもれびの里の水車はこの方式を再現しています。



#### 炭焼き小屋

炭はかつては生活を支える大切な燃料でした。この炭焼き窯は、ドラム缶を使って作りしました。公園の竹を使って竹炭を作っています。

## こもれびの里の風景



## こもれびの里の農家

こもれびの里のシンボリックな施設「農家」。江戸中期末頃に建てられた東京都狛江市に所在していた石井家の建物を移築しました。主屋、内蔵、長屋門の3棟が立川市有形文化財に指定されています。



主屋

江戸時代中期(18世紀後半)に建てられた名主の屋敷です。奥の座敷は名主になってから増築されました。西側の屋根は葺(ふき)おろしと呼ばれる特徴的なものです。



長屋門

扉の両脇に部屋が付属している形式の門です。苗字帯刀が許された格式の高い家でしか建てることが許されませんでした。



内蔵

主屋とつながった蔵です。祝い事に使う食器類や長持(ながもち)・筆筒(たんす)、名主の記録文書などが収められていました。建築年代は、明治初期頃と推定されます。

#### 注意事項

- ・農家エリアでは、ペットを連れての立ち入りはご遠慮ください(介助犬可)。
- ・主屋には上がることはできません(特別展示等、スタッフのご案内時のみ)。
- ・たばこ等、火気の使用は厳禁です。所定の喫煙場所をご利用ください。